

朝日大学歯学部生涯研修部プログラム

Clinical Step up

クリニカル・ステップアップ

朝日大学大学院歯学研究科連携プログラム

Instructor



青井 良太
Ryota Aoi



勝又 明敏
Akitoshi Katsumata



木下 富貴
Tomitaka Kinoshita



玄 景華
Keika Gen



貞光 謙一郎
Kenichiro Sadamitsu



三條 直哉
Naoya Sanjo



高垣 智博
Tomohiro Takagaki



瀧野 裕行
Hiroyuki Takino



田代 浩史
Hirofumi Tashiro



辰巳 順一
Junichi Tatsumi



谷尾 和正
Kazumasa Tanio



谷口 裕重
Hiroshige Taniguchi



中川 豪晴
Takeharu Nakagawa



中本 哲自
Tetsuji Nakamoto



二階堂 徹
Toru Nikaido



宮地 栄介
Eisuke Miyaji



安田 順一
Junichi Yasuda



山田 國晶
Kuniaki Yamada

CLINICAL
STEP UP
06
COURSE

主な認定制度

- ☐ 日本歯科医師会認定研修会
- ☐ 朝日大学大学院生の単位認定コース

コースの詳細・お申込みは
こちらから▶



プログラム内容

1 実践! 歯科医療者が行うリスク管理

～「咽頭吸引」を行う上の基礎知識から実践まで～

講師／谷口 裕重

2 明日から役立つ訪問診療

－簡単にできる口腔ケアと摂食嚥下機能療法のノウハウ－

講師／玄 景華・安田 順一

3 ベーシックからのステップアップエンド2日間コース

講師／山田 國晶

4 結合組織移植(CTG)をマスターする

～根面被覆から歯槽堤増大術まで～

講師／青井 良太・宮地 栄介・木下 富貴・三條 直哉

5 コンポジットレジン修復の発想転換

－ハンズオンコース－

講師／田代 浩史

6 歯周・補綴・審美 包括的歯科臨床コース

①『包括的治療総論』 講師／勝又 明敏 瀧野 裕行 貞光 謙一郎 谷尾 和正

②『MIと審美修復』 講師／二階堂 徹 高垣 智博 貞光 謙一郎 谷尾 和正

③『歯周病治療(総合診療ベーシックコース)』 講師／辰巳 順一 瀧野 裕行 貞光 謙一郎

④『インプラントと総括』 講師／中本 哲自 中川 豪晴 瀧野 裕行 谷尾 和正 貞光 謙一郎

CLINICAL
STEP UP

06
COURSE

実践! 歯科医療者が行うリスク管理 ～「咽頭吸引」を行う上の基礎知識から実践まで～

Clinical practice! "Nasopharyngeal and oropharyngeal suctioning" Risk management performed by dentists and dental hygienists

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

【歯科医師】【歯科衛生士】

【コース番号:14231301】

概 要

多職種連携、チーム医療が当たり前になっている時代に、歯科医師、歯科衛生士もその一員になれるか、非常に重要な時期かと思います。連携の輪に入っていくには、歯科医療者が多職種との共通認識を持ち、各々の職種の役割(専門性)を理解した上で、我々の専門性を発揮し理解を得ることが信頼獲得に繋がると考えています。「リスク管理」はどの職種においても自らの行う処置や訓練等に付随して管理するもので、対象者に緊急を要する対応が必要になった際の判断や行動に大事な知識です。また、医療者側を守るためにも重要です。

摂食嚥下リハビリテーションや口腔管理の中で「リスク管理」と聞くと、最初に誤嚥・誤飲予防、肺炎予防が思い浮かぶ方が多いと思います。勿論、それら予防も重要ですが、予期せぬ事が起きた時は「その時点で生じていることと対処方法」を判断することが求められます。例えば、口腔管理中もしくはミールラウンド中に多量に誤嚥や窒息した際に、対象者の状態把握や状況を脱するために取る方法が何であるのかを判断することが必要です。つまり、我々歯科医療者も緊急時の状況把握スキルと対処方法について、基本的な呼吸機能、背景にある疾患、誤嚥・窒息時の対応等、適正な知識と技術を備えておく必要があります。

そこで本研修会は、呼吸機能の基礎知識、誤嚥・窒息時の対応法および咽頭吸引の方法を実践に即した形でお伝えしたいと思います。明日からの臨床で「リスク管理」を実践するための一助となれば幸いです。

プログラム

第1部：なぜ歯科医療者がリスク管理を学ぶ必要があるのか (9:30-10:00 担当 谷口)

- ①患者の疾患、障害の複雑化
- ②リスク管理の必要性

第2部：呼吸器に関連する解剖・生理学 (10:00-11:20 担当 谷口)

- ③摂食嚥下のメカニズム
- ④呼吸のメカニズム
- ⑤呼吸器疾患の病態

第3部：胸部聴診の方法 (11:30-12:30 担当 國井)

- ⑥胸部聴診の必要性、部位
- ⑦聴診音の聴き分け方とそれぞれに考えられる症状

第4部：医療デバイスの基礎知識 (13:15-14:30 担当 國井)

- ⑧医療デバイス(人工呼吸器等)の基礎知識

第5部：実践! 咽頭吸引 (14:30-16:00 担当 國井、木村、渡邊)

- ⑨吸引の必要性を判断するポイント
- ⑩窒息時の対応
- ⑪口腔、鼻腔、気管からの吸引方法
- ⑫咽頭吸引実習(インストラクター付)



谷口 裕重

Hiroshige Taniguchi

朝日大学歯学部

摂食嚥下リハビリテーション学分野

准教授

日本摂食嚥下リハビリテーション学会

認定士

日本老年歯科医学会

摂食機能療法専門歯科医師・専門医

日本静脈経腸栄養学会 認定歯科医

日本嚥下医学会 相談員

日本障害者歯科学会 認定医

■定 員：30名

■日 時：2023年11月26日(日)

9:30 ~ 16:00

■会 場：岐阜・岐阜市橋本町

朝日大学病院

■受講料：13,000円

(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)

1 day
CLINICAL
STEP UP
06
COURSE

朝日大学プログラム

明日から役立つ訪問診療

簡単にできる口腔ケアと摂食嚥下機能療法のノウハウ

Be Useful to Home-visit Dental Treatment Immediately

- An Easy Introduction of Oral Care and Treatment for Eating/Swallowing Disorders -

【歯科医師】【歯科衛生士】

【コース番号:14231401】

概要

近年、本格的な超高齢化社会を迎え、厳しい社会保障制度改革の中で歯科医療も転換期にさしかかっています。介護保険が平成12年から導入されて23年が経過し、平成18年度からは介護予防としての口腔機能への取り組みも求められています。従来から歯科疾患に対する保存・補綴治療を始め、8020運動を中心とする予防歯科の流れの中で、第三の歯科医療としてさまざまな障害や、基礎疾患のある高齢者に対する口腔ケアを中心とした介護支援や摂食嚥下障害への歯科的支援などの対応が重要になってきています。また、平成30年度からは新病名「口腔機能低下症」が保険収載され、新たな取り組みが求められています。

上記の視点にたって、一般診療所での歯科診療の枠組みの中で、訪問診療及び摂食嚥下障害への取り組みを戦略的・戦術的にわかりやすく解説していくのが本コースのねらいであります。研修内容は、訪問診療の基礎的知識と実践及び摂食嚥下障害へのアプローチで、全く経験のない先生方でも訪問診療のイメージがしやすいように、具体的に講義していきます。

プログラム

1. 訪問診療の基礎的知識と実践

- ・考え方と診療の流れ
- ・安全面としての全身管理
- ・在宅での歯科治療（特に義歯関連）
- ・口腔ケアの基本と応用
- ・症例紹介（ビデオ供覧）

2. 摂食嚥下障害へのアプローチ

- ・摂食嚥下障害とは
- ・摂食嚥下障害の評価方法
- ・摂食嚥下障害への具体的な対応と訓練（VE 検査のデモ含む）
- ・歯科的補装具（PAP）の応用
- ・在宅・施設での実践
- ・症例紹介（ビデオ供覧）
- ・質疑応答

受講生の声

講演内容を障がい者歯科診療、介護保険の審査会の場で生かしていきたいと思います。

POINT!

- 初めて訪問診療を始めたいと考えておられる先生方や歯科衛生士の方に企画しました。
- 口腔ケアや摂食嚥下障害への取り組みもわかりやすく解説します。
- 現場での具体的な対応もビデオを供覧しながら、基本的なノウハウをマスターして、すぐに臨床に応用・導入できるようなコースです。
- 少人数コースのため、直接マンツーマンでの指導及び質問を受けることができます。
- これから訪問診療を検討している先生方や現在、訪問診療でお悩みの方に最適なコースです。



玄 景華

Keika Gen

朝日大学歯学部

口腔病態医療学講座

障害者歯科学分野 教授

日本障害者歯科学会 指導医

日本老年歯科医学会 指導医

日本歯科麻酔学会 認定医

日本摂食嚥下リハビリテーション学会

認定士



安田 順一

Junichi Yasuda

朝日大学歯学部

口腔病態医療学講座

障害者歯科学分野 准教授

日本障害者歯科学会 指導医

日本老年歯科医学会 指導医

日本歯科麻酔学会 認定医

日本摂食嚥下リハビリテーション学会

認定士

■定 員：20名

■日 時：2023年12月10日(日)

10:00 ~ 17:00

■会 場：岐阜・瑞穂市

朝日大学1号館3階 臨床系ゼミ室No.1

■受講料：歯 科 医 師 25,000円

歯科衛生士10,000円

(単独受講可能)

(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)

1 day

CLINICAL
STEP UP

06

COURSE

ベーシックからのステップアップエンド

2日間コース

2Days Step-up Training Course for Treatment of Clinical Endodontic.

日本歯科
医師会認定

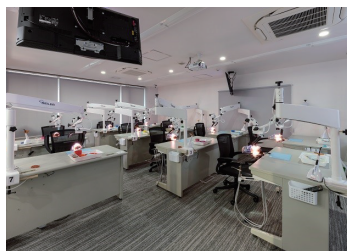
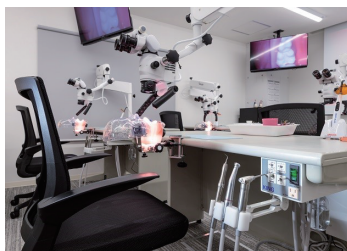
朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

【歯科医師】

【コース番号:14231501】

概 要

ベーシックの習得が完了したと感じているにもかかわらず、今一つ症例につまづいたり、マイクロスコープ・CTを導入しているにもかかわらず、ミスを起こしてしまう場合があり、スムーズな臨床が遂行していないなど、悩む所です。本コースは、ステップアップが上手く行かない場合を想定した、ベーシックからのステップアップを目指した内容にて進行したいと考えております。



※1人1台マイクロスコープを使用していただけます。

プログラム

1. 根管処置を成功するポイント
2. ステップアップに効果のある器具、器材の紹介と使用テクニック
3. 根管内封鎖の必要性和封鎖法（デモと実習）
（BCシーラー & ウォームガッタパーチャ法とMTAパウダーによる封鎖）
4. 根尖端部の過剰拡大歯の対処法（デモと実習）
5. 不良再処置歯におけるトリートメントプランとガッタパーチャ除去
6. 穿通障害歯とは
（その考え方と穿通法・処置法と彎曲型穿通障害歯トレーニング模型によるデモと実習）



山田 國晶

Kuniaki Yamada

かおり歯科医院 院長

歯学博士

日本歯内療法学会(JEA) 専門医・指導医

C.E.R.I.研修会 代表・主宰・専任講師

朝日大学歯学部

口腔機能修復学講座歯科保存学分野

非常勤講師

朝日大学歯学部

口腔形態医療学講座インプラント学分野

非常勤講師

東京歯科大学 歯内療法学講座

非常勤講師

日本顕微鏡学会

指導医・専門医・理事・評議員

日本顎咬合学会 指導医

日本臨床歯科医学会(SJCD) 指導医

S.J.C.D.エンドコース 特別講師

日本口腔インプラント学会 専修医

■定 員：10名

■日 時：2日間

2024年2月11日(日)

10:00 ~ 18:00

2024年2月12日(月・祝)

10:00 ~ 16:00

■会 場：愛知・知立市 知立研修センター

(愛知県知立市池端2-15 池端ビル2F)

■持ち物：筆記用具・白衣

(もしくは実習に支障のない服装)

■受講料：165,000円

(会場レンタル費・器材レンタル費・模型代・昼食代などを含む)

(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)

2day
CLINICAL
STEP UP
06
COURSE

朝日大学プログラム

結合組織移植 (CTG) をマスターする

～根面被覆から歯槽堤増大術まで～

Surgical Training for Connective Tissue Graft

-Root Coverage and Ridge Augmentation -

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

【コース番号:14231601】【歯科医師】

概 要

近年、歯周病治療だけでなく審美修復やインプラント治療においても歯肉のマネジメントの重要性が注目されています。また、日々の臨床のなかで歯肉退縮や歯肉の厚みが薄い歯に対して、そのままレジン充填や補綴処置を施してきたことが多いと思います。しかし、歯肉退縮に対して行ったレジン充填が、さらに歯肉退縮を起こしているケースに遭遇したことは少なくないのではないのでしょうか。

本コースではこのような臨床で起こりうることを想定し、その予防や改善、清掃性の向上を目的とする結合組織移植術による根面被覆や歯肉増大によるバイオタイプの改善まで、豚顎を用いて手技をマスターしていただく実習中心のハンズオンコースです。

プログラム

講 義 (Lecture)

1. 歯周外科総論
2. 多種多様な移植テクニック
3. 術式の選択基準
4. 切開、剥離、縫合
(結合組織移植術、遊離歯肉移植術を中心に)

実 習 (Hands on)

少数歯、多数歯における根面被覆術・歯肉増大術等、時間の許す限りできるだけ多くの情報をお伝えします。



青井 良太

Ryota Aoi

あおいデンタルクリニック・麻布十番
ペリオインプラントセンター 院長
SBC(Surgical Basic Course) 主幹
朝日大学医科歯科医療センター 非常勤講師
SAC(Sinus Approach Course) 常任講師



宮地 栄介

Eisuke Miyaji

宮地歯科医院 院長
SBC(Surgical Basic Course) 講師
club SBC会長
SAC(Sinus Approach Course) 常任講師



木下 富貴

Tomitaka Kinoshita

きのした歯科クリニック 院長
SBC(Surgical Basic Course) 講師



三條 直哉

Naoya Sanjo

三條歯科医院 院長
SBC(Surgical Basic Course) 講師
SAC(Sinus Approach Course) 常任講師

■定 員：20名

■日 時：2023年9月3日(日)

10:00～16:30

■会 場：株式会社ヨシダ 大阪支店
(大阪府大阪市西区北堀江1丁目8-10)

■受講料：60,000円

(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)

1 day
CLINICAL
STEP UP
06
COURSE

コンポジットレジン修復の発想転換

ハンズオンコース

Paradigm Shift of Direct Composite Resin Restoration.

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

【コース番号:14231701】【歯科医師】

概要

近年、コンポジットレジン修復関連の基礎研究や材料開発の努力によって、直接法によるコンポジットレジン修復の適応範囲は拡大しています。開発当初、コンポジットレジン修復の臨床応用範囲は小規模窩洞に限定され、その歯質接着性や修復材料としての物性には長期的な臨床経過に懐疑的な認識が一般的であったと記憶しています。しかしながら、継続した学術研究や臨床応用の蓄積により、ボンディング材の歯質への浸透・硬化による強固な接着能力の獲得と、コンポジットレジンの重合硬化後の強度・審美性の向上とが、臨床でのコンポジットレジン修復に関する認識を大きく変化させる状況となっています。

ボンディング材の歯質接着能力は既に臨床上で必要十分なレベルに到達し、新規ボンディング材に求められる方向性は、より使用環境に左右されにくいタイプへの機能性の追求や、短時間で確実な処理が可能なタイプへの改良へとシフトしています。また、フロアブルコンポジットレジンなど、様々な特徴を持ったダイレクトアブリケーションタイプのコンポジットレジンが次々に登場して臨床での操作性は著しく向上し、窩洞形態に合わせた確実な充填操作がより短時間で可能となりました。

これらの新しい方向性で開発されたコンポジットレジン修復関連材料の特徴を理解し、臨床適用における注意点を整理することは重要であり、本講演では様々な臨床状況で新規材料を活用したコンポジットレジン修復症例を紹介します。多くの症例にとって、コンポジットレジン修復を治療手段の最初の一手として採用し、口腔内環境の崩壊に向かうレストレーションサイクルを初期段階で停止させる取り組みは非常に重要であり、患者の理解・協力の下で我々歯科医師が「MI修復」の新しい方向性を模索していく必要があると考えます。

プログラム

講義 (Lecture)

1. コンポジットレジンによる接着修復の特性 8 PROPERTIES
2. コンポジットレジン修復の最新臨床術式 8 STEPS
3. コンポジットレジン修復の適応症拡大 8 CASES

保険診療症例

- ・ 臼歯 1 級修復（齲蝕治療）
- ・ 臼歯 2 級修復（齲蝕治療）
- ・ 破折歯への修復（前歯 4 級修復）

自費診療症例

- ・ 臼歯 2 級修復（メタルフリー修復）
- ・ 離開歯列への修復
- ・ ダイレクトベニア修復
- ・ ダイレクトクラウン修復
- ・ ダイレクトブリッジ修復

実習 (Hands on)

1. 臼歯部 2 級修復（メタルフリー修復）におけるマトリックス システムの活用方法
2. 前歯部大規模コンポジットレジン修復におけるシリコンガイド作製方法
3. ダイレクトクラウン修復における失活歯への歯冠形態再構築方法



田代 浩史

Hirofumi Tashiro

田代歯科医院 院長

東京医科歯科大学

臨床教授（齲蝕制御学）

日本歯科保存学会 認定医

日本接着歯学会 専門医

DIRECT RESTORATION ACADEMY

OF COMPOSITE RESIN 主宰

■定員：15名

■日時：2023年11月19日（日）
10:00 ～ 16:30

■会場：株式会社モリタ 名古屋支店
（愛知県名古屋市千種区内山3丁目
30番9号nonoha千種3F）

■受講料：60,000円

（入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。）

1 day
CLINICAL
STEP UP
06
COURSE

朝日大学プログラム



勝又 明敏

Akitoshi Katsumata

朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座
歯科放射線学分野 歯科放射線学 教授
日本歯科放射線学会指導医・専門医
日本口腔インプラント学会基礎系指導医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定師



貞光 謙一郎

Kenichiro Sadamitsu

貞光歯科医院 院長
日本顎咬合学会次期理事長・指導医
日本審美歯科学会代議員・認定医
朝日大学 非常勤講師



高垣 智博

Tomohiro Takagaki

朝日大学歯学部
口腔機能修復学講座
歯科保存学分野 歯冠修復学 准教授
東京医科歯科大学
大学院医歯学総合研究所 非常勤講師



瀧野 裕行

Hiroyuki Takino

タキノ歯科医院 院長
朝日大学歯学部 客員教授
東京医科歯科大学 非常勤講師
大阪大学歯学部 非常勤講師
日本先進医療研修施設 (JIADS) 理事長
日本臨床歯周病学会認定医
OJ (Osseointegration Study Club of Japan) 副会長
AAP (American Academy of Periodontology)



谷尾 和正

Kazumasa Tanio

タニオ歯科クリニック 院長
日本顎咬合学会咬み合わせ認定医



二階堂 徹

Toru Nikaido

朝日大学歯学部 口腔機能修復学講座
歯科保存学分野 歯冠修復学 教授
日本歯科保存学会 理事・専門医・指導医
日本接着歯学会 理事・認定医
日本歯科技工学会
中部支部理事・シニアアドバイザー
学術誌Dental Materials Journal
副編集長
学術誌Journal of Adhesive Dentistry
副編集長

歯周・補綴・審美 包括的歯科臨床コース

Comprehensive Clinical Dental Course in Periodontics, Prosthodontics and Esthetics

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

【コース番号:14231801】【歯科医師】

1900年以降歯科においては一口腔単位の治療が推奨されてきました。検査・診断から顎関節の状態、咬合高径と水平的な顎位、咬合平面と臼歯部の咬合関係、前歯部の誘導路の確保など採得した資料を分析し治療計画の立案をおこない、その後に治療に介入する。先人の先生方の努力と研鑽と長期に渡る良好な予後経過により、包括的な治療は確立した手法であると考えられます。しかしながら、今だに一歯単位の対症療法により日常の臨床がおこなわれていることも事実です。

今回は基本的な技術を身につけ、包括的な治療の診断・分析が可能となる臨床家にとって必要な技術と科学的な根拠いわゆるエビデンスを学んでいただけるコースとなっています。

各プログラム

第1回『包括的治療総論』

講師:勝又 明敏 瀧野 裕行 貞光 謙一郎 谷尾 和正

2023年5月13日(土) 第1日

包括的治療の長期的予後経過 (講義)

口腔内を包括的に観察し、一口腔単位で治療をおこなってきました。まずは応急処置をおこない、資料を採得・分析から患者説明、患者との対話のもとで治療に介入する。講師の先生方の治療結果と予後経過をみていただき今後の検査・診断の参考にさせていただけたらと思います。

2023年5月14日(日) 第2日

的確な資料採得と顎関節の分析 (講義・実習)

包括的治療の予後経過には、確実な資料採得と顎関節の分析、的確な資料採得と資料分析は治療の予後経過を大きく左右します。資料の採得と分析の手法を学びます。また、臨床家が覚えておかなければならない咬合論と顎の運動の起点となる顎関節の観察手法を学んでいただけたらと思います。

第2回『MIと審美修復』

講師:二階堂 徹 高垣 智博 貞光 謙一郎 谷尾 和正

2023年6月3日(土)、4日(日) 第3、4日

保存・補綴

日々の臨床のなかで最も実践している処置がレジン充填ではないでしょうか。本セミナーでは科学的な根拠に基づいたレジン充填と接着の概念を説明出来ればと思います。

2023年6月4日(日) 第4日

保存・補綴

支台歯形成は、最終の補綴物装置形態を決定する重要な処置となります。実習にて基本を覚えていただければと思います。また、審美修復では、基本的な客観的基準から材料学を学び実践につながるよう講義いたします。

第3回『歯周病治療(総合診療ベーシックコース)』

講師:辰巳 順一 瀧野 裕行 貞光 謙一郎

2023年7月8日(土)、9日(日) 第5、6日

歯周基本治療終了後、効果的で正しい歯周外科を行うためには、その基本手技・手法を理解していなければ上達は不可能です。また、正しい歯周外科処置が実施できることで、予後が安定し、再生療法などの治療効果も高まります。最終的な機能回復処置やインプラント治療に向け、口腔内の環境改善を行い長期安定した予後が獲得できるよう様々な歯周外科処置について学んでいただきます。

本プログラムは、講義・デモ・実習から成り、多くの時間を、豚顎を用いた実習に割く予定です。

第4回『インプラントと総括』

講師:中本 哲自 中川 豪晴 瀧野 裕行 谷尾 和正 貞光 謙一郎

2023年9月2日(土) 第7日

インプラント

臼歯部の咬合の安定を望むなら、インプラントは欠かせないものであると考えています。基本に忠実に施術をおこなうことで長期的な予後経過も望めることは周知の事実です。インプラントの基礎から応用、将来像までお話ができればと思います。

2023年9月3日(日) 第8日

総括

健全な経営を基盤に健全な医療が営めることが医療の原則であるといわれています。医療と医業の充実をテーマに講演をおこないます。また、歯科のデジタル化に向け各医院での取り組みも話させていただきます。



辰巳 順一

Junichi Tatsumi

朝日大学歯学部

口腔感染医療学講座

歯周病学分野教授

日本歯周病学会専門医・指導医

日本顎咬合学会指導医



中川 豪晴

Takeharu Nakagawa

中川歯科医院 院長

朝日大学歯学部総合歯科学講座

非常勤講師

口腔機能修復学講座

歯冠修復学 非常勤講師



中本 哲自

Tetsuji Nakamoto

朝日大学歯学部

口腔病態医療学講座

インプラント学分野教授

日本補綴歯科学会 指導医・専門医

日本口腔インプラント学会 専門医

■定 員：18名

■日 時：8日間

2023年5月13日(土)

14:00～18:00

2023年5月14日(日)

10:00～17:00

2023年6月3日(土)

14:00～18:00

2023年6月4日(日)

10:00～17:00

2023年7月8日(土)

14:00～18:00

2023年7月9日(日)

10:00～17:00

2023年9月2日(土)

14:00～18:00

2023年9月3日(日)

10:00～17:00

■会 場：京都・京都市 松風本社

(京都市東山区福稲上高松町11番地)

■受講料：550,000円

※時間については変更となる場合がございますので、予めご了承ください。